

## 第2回 東区まちづくり懇談会 要旨

1 日時 令和元年6月26日(水)、13:00～15:00

2 場所 東区役所 5階 講堂

### 3 出席者

(1) 委員 (委員16人のうち13人出席)

林 武広	中井 公孝	古川平三郎	森平 茂章	秋本 昇
斎木 俊彦	中村 彰良	向井 春代	谷本 合一	川尻 七美
下河内一成	川野 幸代	峠井 克己		

(2) 東区役所

東区長、副区長、厚生部長、建設部長、東消防署長、区政調整課長、地域起こし推進課長、地域支えあい課地域支援担当課長、東消防署副署長、地域起こし推進課職員

### 4 議題

(1) 「まちづくりの方向性(修正案)」について

(2) アクションプランのイメージについて

5 公開・非公開の別 公開

### 6 傍聴人

(1) 一般傍聴者 0名

(2) 傍聴者(報道関係) 0名

### 7 会議資料名

東区まちづくり懇談会委員名簿

東区まちづくり懇談会配席表

議事資料1 「まちづくりの方向性(修正案)」について

議事資料2 アクションプランのイメージ【具体的な取組】

議事資料3 アクションプランのイメージ作成にかかるアンケート【まとめ】

### 8 議事内容等

(1) 区長あいさつ

(2) 新任委員紹介

(3) 「まちづくりの方向性(修正案)」について

議事資料1により、説明を行った。

(4) アクションプランのイメージについて

議事資料2及び議事資料3により説明を行った。

## 9 発言要旨

### (1) 「まちづくりの方向性」について

#### 林座長

- ・ 本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。活発なご意見をいただきますようお願いいたします。最初にですが、東区まちづくり懇談会運営要綱第2条第1項に当懇談会は過半数の議員をもって成立するという、第2項に、議事は出席委員の過半数をもって決するというを定めてあります。本日は委員16名中13名の出席をいただいておりますので懇談会は成立しておりますことをご報告しておきます。それではさっそく議事を進めてまいりたいと思います。

最初に、レジュメの「(1) まちづくりの方向性について」ですが、それにつきまして区役所から説明をお願いいたします。

#### 地域起こし推進課長

- ・ 資料説明（議事資料1）

#### 林座長

- ・ ただいま説明いただいた「まちづくりの方向性」について、何か御意見はありますか。
- ・ 特に御意見もないようですので、「まちづくりの方向性」については、この修正案で承認ということよろしいでしょうか。

#### 各委員

- ・ 異議なし

#### 林座長

- ・ ありがとうございます。それでは、「まちづくりの方向性」については、この修正案で進めてください。

### (2) アクションプランのイメージについて

#### 林座長

- ・ それでは続いて、議事2の「アクションプランのイメージについて」、区役所から説明をお願いいたします。

#### 地域起こし推進課長

- ・ 資料説明（議事資料2及び議事資料3）

#### 林座長

- ・ ありがとうございます。かなりの資料でございました。アクションプランというのは基本的に、一番初めにやりました「方向性」を実現するための、いろいろな活動ということになります。ですので、表にありますように成果指標が掲げてあります。プランについてこのよ

うな指標で成果を図ろうということで、一種のアセスメントになります。基本はそれぞれ1～4までの方向性ごとに目標が設定されておりますので、それにそってアクションが設定され、それにそった指標が設定されたということでもあります。たくさん項目があったので、それぞれについて、いきなりすぐ御意見をといっても難しいかもしれませんが、せっかく来ておられますので、それぞれ御意見をいただければと思います。今日、何かを決めるわけではありません。今日、初めてお見せするわけですし、これから3回目、4回目とございますので、だんだんと煮詰まっていけばいいのかなと思っております。それでは、どうぞ順番にひとり2分間ずつくらいでご意見ご質問よろしく申し上げます。

#### 古川委員

- ・ よくできたアクションプランだと思います。特別質問はありません。

#### 秋本委員

- ・ 戸坂社協の秋本ですが、3点ほど。  
今回のプランの並び替えて、地区の方向性が、やはり一番命にかかわるものから、そういったものに順番が変えられている、これは大変良かったと思います。  
気になるのが、避難行動要支援者リストを4月に作られたものをいただいているが、その中に未回答というのがあります。絶対この人は何らかのアクションをしなくてはいけないという人が、未回答で返ってきているんです。私は社協の会長も町内会の会長もしていますが、1,400人いる中で12名の方が要支援者リストに載っているんですが、4名の方は未回答なんです。その未回答の方は、私が知っているだけでも、この人はどうにかしないと、思う方がいらっしゃるんです。要は目が非常に見えにくい、歩くのが大変という方が未回答で返ってきていること、指標が決められなかったというのは、その辺にあるのではないかなという気がしております。なかなか、あとは地域任せという形も、非常に我々も厳しいものがあるなと思っております。社協の場合も、戸坂学区全体では14,000人おりますので、それを簡単に見ただけでも12名のうちの4名が未回答という状況で返ってきているということは、1/3の方がどうなっているかわからないといった状況でいるのかなということで、社協と自主防で連携してみているものの、数が多すぎるのではといった話もしております。そういった未回答のところを突き止めていただかなくては、指標もできないと思っております。
- ・ それから、健康作りとかいきいき100歳体操は戸坂でも23か所でやっていて、それなりに成果をあげているんですけども、元気なお年寄りもかなり増えてきている状況です。認知症カフェも社協でも作り、そこで3年やっております。そういった状況で、そういったものを盛り込みながら、指標を増やしていけばいいのかなと個人的に思っています。

#### 中村委員

- ・ 今回初めて参加させていただいております。大変よく整理されているなという風には感じております。青少年健全育成連絡協議会という立場から言わせていただくと、高齢者の方と小さな子どもたちという取り組みはあるんですが、できれば、もう少し、未来を担う子どもたちへの支援等もできたら、と少し思いました。でも大変よく作成されていると思います。

## 向井委員

- ・ 女性会の向井と申します。町内会加入者が少ないというのは前から言われておりますが、実際本気で誘っておられるのかなという気がします。時々、私たちがいろんな人に話しかけるんですけども、「あなたどこへ住んどっての？」とか「あなた町内会入ってる？」と聞くと「入ってないです」というから「それはいけんね」というと、「どうして入っていいかわからない。誰も言ってきてくれないんです」ということがかなりあるんです。それを1軒1軒というのは無理かもしれませんが、やっぱり足を使って熱心に勧誘して歩くというのをもう一度考えてみれば、もっと増えるのではないかなと確信を持ちました。誰も言ってきてくれないとか、どうやって入っていいかわからん、誰に言っていいかもわからん、誰も友達がいなし、という方がいる。そういう方に「子ども会があるのは知ってる？」という「いやそれも入っていません。子ども会も入らせてもらいたいです。」といったような方もときにはおられた。これは足を使ってこまめに本気で歩いてみたらどうなんかなと思うんです。私たちがやっております日赤社資募集にいたしましても、以前はみんな1軒1軒歩かせてもらっていたんですが、町内によっては歩くのが大変だから、まとめて町内と女性会半々で出してもらおうんです。決まった額をぽんと出されるんですけども、そうすると金額がぐんと落ちるんです。ですから、大変なんですけど、できたら私たちの地域は歩くようにしない？と。そういう働きかけをしますと、今年4つ女性会があるうちの2つの女性会が歩いてみますということになりました。最初は、どうやったらいいのですかと言われるので、最初に町内会長さんに、私たちが全部歩かせてもらうのでよろしく願いいたしますと挨拶に行くと、こうしてこうするんよと言うと、回ってみようと思えますというところが増えました。

それと町内会に入っていないからという弊害がたくさん現れております。戸坂の消防署が建て替わっておりますけど、東浄の住宅のはしっこのほうに仮設の消防署ができていますが、ある日突然あそこにできて、真夜中でもなんでもサイレン鳴らして出ていくと、みんなから非難が上がっていると近くの方が言われるんです。それは社協でちゃんと話があったでしょうということ、やっぱり町内会に入っていないところは回覧も回らないんですね。それがたくさんおられるものですから、一番近隣の人たちが、突然住民の許しもなくあんなものと言われるから、そういう弊害がたくさんあるのだと気が付きました。やはり災害に対しても、町内会の組織に入って、みんなに伝わるようにしていかないと、いろんな事件が起きたりします。もうちょっと足を使って、おせっかいなおばさんの立場も使って、子どもさんとか若い方、転入してきた方を中心に歩いてみようと思っております。

## 川尻委員

- ・ しょうがい者父母の会の川尻と申します。私の息子が24歳で知的障害がありまして、東区戸坂のつくしんぼ作業所というところに入所させていただいております。委員の秋本さん向井さんには大変お世話になっております。障害者団体の立場からということなんですけど、このアクションプランのイメージをこのようにまとめてくださって、この膨大な中にもすごく具体性もあって素晴らしいなと思いました。今日ちょっと聞いたときに、イベント等、結構たくさん企画される形になっているなと思ったのですが、その時に、うちの息子は知的なので、体は全然元気でもいいんですが、団体の中には寝たきりの障害の方もいらっしゃいます。障害者用トイレもたくさん設置されてきてはいるんですが、普通の座位が取れる方のイメー

ジで作られているものばかりなんです。よく言われるのが、寝たままでしかトイレできないということで、そういうときに長椅子1つあれば事足りるんだとおっしゃっていました。トイレの広さは必要にはなってくるんですけども、そこまで費用がなくてもそういう長椅子1つあれば大丈夫なんですと、せっかくの機会ですので、そのことを申し上げたいなと思いました。それと、イベントの時に障害が重いとそんなにイベントに出るということも難しんですけども、トイレのことと休憩場所というのか、クールダウンできる休憩場所がありますよ、気分が悪くなったりしんどくなったらここの部屋がありますよとか、もし、そういうご用意ができるようであれば、こんなにたくさん素敵なイベントをご用意されているので、そういうことを少し考えていただけたらなと思いましたので意見を出させていただきました。

### 川野委員

- ・ 二葉の里歴史の散歩道の川野といいます。よろしくお願ひします。大変わかりやすくまとめられているのですが、ちょっと付け加えていただきたいことがあります。これは幅広い世代にという意味にはなると思ふんですけども、私たちの具体的な取り組みの中に牛田小学校3年生と尾長小学校6年生の総合的学習支援というのを、年にそれぞれ1回ずつやっております。私たちはすごく大切にしています。子どもたちですから、いつものような質問、大人に答えるようなものでは到底間に合いませんので、前もって先生から質問を吸い上げていただき、そして私たちの中でなるべく答えを準備してと、結構時間を取っております。七社寺のご住職、宮司さんたちからも、いいことをしている、頑張りなさいと言っていたいております。

それから、実際の生活の中にたちまち関わってくることではないんですけども、文化というのはそこに住む人たちのすべてを含んでいるような感じがします。今、緑地帯がきれいになって、桜並木がぼつぼつ復活しております。これは植えてみて初めて分かったんですけども、植えるのは簡単、それから後が大変だというのは今しみじみ感じています。ですから、この桜並木を管理していただいて将来みんなの憩いの場になるような、お花見はエキキタに行こうくらいの、そんな感じになったらうれしいなと思っています。

### 峠井委員

- ・ 私はふれあいもてなし市協議会をしております。明日、隣の文化センターのほうで11時40分から新鮮な野菜を提供ということで、福田、馬木、温品、矢賀という農家の方々が集まるのでもしよければ。

この前、さつまいもの定植とじゃがいもの収穫ということで、ファミリー層に集まっていたいて雨の中開催しました、結構お子さんたちも喜んで参加いただいておりますが、それが今後の農家の後継者につながるかというのは少し疑問というか、難しいかなとも思ふます。

それと、これは話が別格なんですけど、アクションプランの中で災害ということがメインで出てきますが、やはり先ほどから出ておりますが、町内会に加入されていない方、または高齢者で、参加したくても体が身動き取れないという方が多くなっています。災害があった地域でもありますから、町内の大掃除が予定としてあって、河川掃除、要するに昔でいうドブ掃除です、道は雨である程度きれいになりますから雑草を取る程度できれいになると思ふんですけど、河川は落ち葉とか木々で隣の森林地帯のほうから枝が出てきて詰まらせて困るとい

うこともありまして、この間相談したんです。年に一回もしくは3年に一回そういう河川とか神社、お寺の木々を見ていただいてチェックしていただいて、ここはこう対処しないといけないなというような計画をしていただければ、災害が起きてからどうこうというよりも、災害の前に何か対策をしていただくことを検討していただけたらなど。町内会の未加入の方をどう引っ張り込むかということをご様方に案があれば教えていただければと。

#### 下河内委員

- ・ エキキタまちづくり会議の会長をやっております下河内と申します。私どものエキキタまちづくり会議というのは地元の町内会の皆様方と民間企業の会社等が構成員です。こちらに書いてあるアクションプランの中には東区、広島市からのいろいろな施策が出ておりまして、随時ご協力していただいて進めていけたらなど。

これはまちづくり会議とは違うんですが、このエキキタ地区というのは陸の玄関口ですけど、ご存じのとおり二葉の里地区とか、東警察署がある地区は道路整備もされておりました非常にかきれいになっているんですが、光町、尾長、山根町、愛宕なんかは昔ながらの町並みでその辺の整備ができていないのが現状でございます。このあたりの道路、歩道の整備を暫時やっていただけたらと思っています。これは前々から東区さんに要望を出しているんですが、やっていただければ、陸の玄関口として恥ずかしくないかなと思います。

それと、アクションプランのイメージの追加資料の中で防犯カメラの設置がありますが、ちなみに数年前に私の会社の中で車上荒らしが夜中にありまして、ナンバープレートが盗られたことがありました。こういったことは防犯カメラを設置することで歯止めになり、この地区でできれば非常に防犯意識が高くなるのではないかと。

#### 谷本委員

- ・ 老人クラブ連合会の谷本です。アクションプランのアンケートまとめの中では8番のところに詳しく書いていますが、ほかに17番と重なるところがありますが、高齢者の免許返納とその対策ということでぜひ実感できる検討をお願いしたいなと思います。交通手段の確保、今現在、今日も昨日も交通事故で高齢者が、というようなことがあって、そういうことで私らの周りも80くらいの方は家族から「あんた一人で運転するのはいいけど周りの人を乗せたらだめよ」と、車を乗り合わせてくるということもだんだんできなくなった。どうにか交通手段の確保、家から一歩外へ引き出そうということを考えていますが、このへんが今後どうなるのか、少子高齢化の中で高齢者と言いましても、70くらいまで働きに出るというようなことになりますと老人会になかなか入っていただけないというような状況も出てきます。いろいろ苦勞しているところではありますが、なんとか頑張って、高齢者が元気で仲間意識を作って協働できるような社会づくりができればと思っています。

#### 齋木委員

- ・ 東区体連の齋木といいます。よろしくお願ひします。体連としましてはいろんなイベントを考えることかなと思っています。各学区のほうの体協としては、いろんな行事を設けていると思いますが、東区体連としてはスポーツセンター祭りというのを各区でやろうと一昨年くらいからスタートし、牛田公民館まつりに合わせて現在やっております。障害者のスポーツを公

民館まつりに来られた方に参加してもらおうとか、障害者にきていただいて実際にバスケットをやってもらおうとか、企画していますが、私の思いとしてはスポーツセンター祭りを独立させて今のような行事とかスポーツとか、障害者、子ども、高齢者、一般の人が参加できるような、そういったイベント、大会にしたらどうかなと思っております。既存のものを充実させていくということしかアイデアとしてないんですが。

もう1つお願いがあるんですが、東区の中でスポーツセンターに行こうと思えば私達も車で行くしかない。駅前からバスで行こうと思ったら牛田方面へ行くバスを使ってまた乗り換えてというようなことで、できればそういうイベントの時くらい巡回バスのような、戸坂をぐるっと回って中山から牛田を通るような巡回バスを、許可してもらえればもっとこう東区という輪ができるんじゃないかなと思っております。いろんなイベントを企画されておられますので、体育協会として協力できるところは協力していきたいと思っております。よろしくお願ひします。

### 森平委員

- ・ 尾長社協の森平でございます。今日のプランを拝見しまして全体的に非常によくまとめられているなという感想です。ただし個別に見ますと、具体的な個々の取り組み、役割等を見ますと本当にこれで解決に向かうのか、一つの解決策であることに間違いはないと思いますがこれでうまくいくのかどうか、解決につながるのかどうかという点からしますと、私個人的にはいろいろ聞きたいこともたくさんあります。一番私が大きく感じておりますのが、安全安心で元氣あふれるまちづくりの3番目の地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化についてでございます。さきほど向井委員のほうからもありましたように、まちづくりの基本はなんといっても住民のまとまりと言いますか、住民がいかに盛り上げてくれるか、まちづくりにどれだけ関心を持ってもらうかであると思ひます。尾長地区のプランをこの間発行したんですけども、各町内会長が果たして自分の町内会加入率が何パーセントくらいあるのかとほんとにわかつている町内会長は少ないのではないかと思ひました。言葉では簡単に町内会の加入率が低い低いと言っておりますが、今に始まったことではありません。もう十数年前から区役所も、町内会の加入率をあげるために、転居されて来られる方には町内会の加入を進めておられますとかというようなことを聞いております。それでもマンション住まいの方の加入率が悪いということではいろいろ取り組んだり、あと、区役所にも一体となった活動をお願いしたいと、進めてきていると思ひますが、一向に進んでいないのが現状ではなかろうかと思ひます。果たして区役所の地域起し推進課の皆さんは町内会の地区内の加入率が何パーセントくらいあるのかということをご存じでしょうか。データを持っておられるのは区役所ですので、ひとつ東区の各地区の町内会加入率データをまとめていただいて、おたくの町内会の加入率はこうです、というような取組みをぜひお願いできたらと思ひます。いろんないいことを言ひしても町内会の加入率が悪いと、なにかありますと最後には、町内会に入っていない人にはどういふふうに対応するのかといったような問題が出てきます。尾長地区ですと加入率は50%を切っております。40%台の加入率でございまして、見守り活動をしなくても、町内会長の情報を知らん、こういったことでどうにも手が出ないですね。だから民生委員は町内会未加入者にも分け隔てなく日ごろから接していますので、なんとか民生委員の力を借りないとまちづくりがうまく進められないといったような状況でもあります。私も町内会長には町内会の加入率をもっと

もっと真剣に考えてもらわないといけないし、町内会長の意識付けというものを区役所のほうで講演会の参加と入れておられますけど、町内会だけの問題ではなく区役所の問題だと思います。これでは区役所や地域がいい街づくりプランを作っても、これを担っていく住民がそっぽを向いたのでは、ごく一部の人間がまちづくりまちづくりといっても一般の人間がまちづくりって何やってるの？とか、ましてや町内会に入った方でもこういった感じなのに、町内会に加入してない方は全然どういう方向にまちづくりが進んでいるのかこれを知る由もない。こういった状況をずっと、問題意識を持つことは大事ですけども一向に進んでいないのが現状じゃなかろうかと。私もそういったことを痛感いたしましたので言いました。

いろいろありますが、土砂災害に対する備え、防災マップとか、自助、共助、公助のバランスが取れた防災訓練につきましては、尾長地区では自主防が主体となって東消防署と連携して防災マップをほとんど作っていると聞いておりますが、防災体制を地域起こし推進課が主として、東消防署や自主防をまとめていかれる体制で、地域起こし推進課がリーダーシップをとってやっていかれるのかを聞きたいと思います。私のほうでは自主防が主体ではなかろうかと思っておりますので、よろしく申し上げます。

#### 中井委員

- ・ 僕はよくできた案とは思っていない。1 ページの安全安心とはどういうことか。安全安心とは住民に対しての安全安心。それから子どもたちに対しての安全安心、高齢者に対しての安全安心と切り口が違ってくる。それが入っていない。例えば、安全安心、土砂災害というのは去年あったから入れとるだけ。本来から言えば犯罪や交通事故。こういう切り口が全然ない。みんなこの中で検討しているから、ベースが少し違うように思います。

#### 林座長

- ・ 一応皆さんの意見はわかりましたので、その他あれば。

#### 古川委員

- ・ すいません、あまりよくできていていうのを忘れていたんですが。アクションプランの2 ページの新規にやる生活支援。医療介護の項目、これは結構ですけど、その目標値が 39、78、117 となっている。私が調査した限りでは広島市では月に 15,000 人介護を受けている。それが多いいのか少ないのかはわかりません。訪問医療がどれくらいの数か調べたのですが、訪問医療についてはわからない。この目標値は医者と介護がセットの目標なのか、なんなのかをもう少し調べていただいて目標値を検討していただければと。

それから、高齢者がいっぱい増えてくるので特養だけでは収容できない。そうすると訪問医療、訪問介護ができるようになれば住民の目線的には非常にありがたい。非常に住民を対象にしたいい案だと思います。ぜひ頑張ってやっていただきたい。牛田新町は全面的に応援しています。

#### 林座長

- ・ ありがとうございます。その他ございませんか。これは言い忘れたとか。



### 中井委員

- ・ 防犯カメラといったが防犯灯も考えないといけないのではないか。やっぱり安全なまちづくりと言えれば明るくすること。

### 林座長

- ・ 今、防犯灯の話が出ましたが他にはどうですか。  
よろしいでしょうか。それでは、今質問が出たわけですが答えられる部分でよろしいので、一応お答えいただけるものは答えてください。そして今回、検討しないといけないことがあったので、それはまた次回にお願いします。

### 地域起こし推進課長

- ・ まず森平会長のほうから町内会の加入率のデータというお話がありました。これは今、手元にございませんでまた個別にお届けできればと思っています。
- ・ 中井会長から防犯灯のお話がありましたので、防犯灯についてもアクションプランの中での扱いを検討させていただければと思っています。

### 中井会長

- ・ 安全・安心・元気というのは街を明るくすることなんです。そしたら子どもたちにも女性にも優しい街になる。それで今度は防犯カメラをすると明るく撮れる。ベースは絶対的に街を明るくすること。安全安心の街づくりの第一歩は街を明るくすることなんです。

### 地域起こし推進課長

- ・ わかりました。ありがとうございます。古川会長からの、地域団体と医療関係との連携の話については調べさせていただきたいと思います。

### 古川委員

- ・ 防犯灯の話だが、街を明るくする話。転勤族がたくさんおりまして、広島に帰ってくると一番暗いという。門灯をなかなかつけられないというようなこともなので、これは防犯組合でももっとつけるように、そういった活動をこの場以外でも進めてもらったほうがいだろうと。

### 中井委員

- ・ 街が暗いというのはどういうことかというのと百メートル道路とか八丁堀が一番暗いんです。要するに福岡とか大阪の大都市と比べたら広島は暗い。繁華街が暗い。だから人が夜集まらない、だから早く閉めないといけない、だから街がにぎやかでないなど。街を明るくするとともに人がでてくるんです。そうすると店も遅くまで開けるんです。今悪循環でしょう。そういったことをみんな、なかなか理解されないんですが、よその街に行ってみてください。発展している福岡とか仙台へ。簡単に言えば夜遅くまで明るくしている。それは行政の役割じゃないかなという気がします。

#### 林座長

- ・ 今の話は、まあ東区だけでなく広島市全体の話なので、機会があればこういう意見があることをお伝えください。ほかに何かありますか。

#### 建設部長

- ・ 川野委員からお話がありました桜並木の関係なんですけど、あれは桜の木を植えていただいたものを市のほう引き取って今管理しております。維持管理課のほうで維持管理はしております。

#### 林座長

- ・ いいですか？桜並木のことは。

#### 川野委員

- ・ 問題は夏ですね、梅雨が明けたら近所の者たちで水やりをずっとやっております。植えてから。今年も7月の2日朝から1時間くらいやるんですが、今年もみんなでやろうとっております。

#### 建設部長

- ・ 非常にありがたいと思います。市のほうでも維持管理しておりますが、プラスアルファで地域の皆さんでやっていただけるというのは、非常にありがたいです。

#### 川野委員

- ・ 2月には肥料もやっています。だからその辺がどうなっているのか。

#### 建設部長

- ・ そこは個別に話をさせてください。一応、市が管理することになっております。

#### 林座長

- ・ ほかに何かよろしいですか。区長どうぞ。

#### 東区長

- ・ 先ほど川尻委員がおっしゃってくださったイベントの時の対応の仕方について、支援担当課長に具体的なことを教えていただけませんか。区のほうもいろいろなイベントをしておりますし、またそういったところで対応させていただければと思いますので、また後程詳しいお話を伺わせていただければと思います。よろしく願いいたします。

#### 峠井委員

- ・ さきほど街を明るくするという話がありましたが、農家からすると、夜と昼間という境がなくなっているんです。ほうれん草は栽培が難しいといわれています。今、蛍光灯がLEDに、かなり変わりました。明るすぎるんです。昼間よりも明るいようなことが結構あって、数か所

減灯してほしいというような方もいる。流川のほうで LED で明るくしても何の影響もないですが、ちょっと地方に行ったら影響がありますので、そういったところも考えて環境改善していただけたらなど。

それと土石流の関係で、河川を定期的に市のほうでチェックしていただきたいなと思います。先ほど言った町内掃除について、腰あたりまでなら簡単に掃除ができますけども、1メートル以上の深さになったときに、高齢になると難しいというのが出てきております。そこらも定期的にチェックして1年、または3年ごとに掃除していただければと思います。また、お宮とか神社とかの木々が民間のほうに出てきております。この伐採については難しいこともあると思いますが、定期点検していただいて、河川にごみがかたまり詰まって土石流にならないように事前に対策していただければと思います。

もうひとつ、町内会を退会したほうが便利が良くなる人がいる。1つはごみ。ごみ収集置き場も今までは遠方に何時までに行き、という感じだったが、今は玄関までゴミ収集車がきます。そういう対策です。町内が決めた場所に出すように区のほうも指導していただきたい。簡単に玄関に収集に行きますよというようなことにならないように。そうやって辞めた方のことを聞いて、私も便利がいいなら辞めようかなという方もおられます。やめてもいいが、指定の場所にごみを出すよう指導していただければと思います。

#### 林座長

- ・ ごみ問題はアクションプランの中でどこまでいくかわかりませんが、だいたいご意見をいただいたでしょうか。

#### 林座長

- ・ それではいろいろご意見いただいたんですが、次回もございますので今日のことを踏まえまして詳しい内容を次回以降協議していきましょう。

この表を見ていただきますと、役割という中に住民というのと区役所と両方ありまして、これはやっぱり忘れてはいけないことであって。先ほど町内会の話もたくさんありましたが、加入率というのは市でどうかすることができればいいんでしょうが、実際には各町内会が中心になるのかなという気がしています。私も町内会長をしていましたので、大変というのはわかるんですけども、時代も変わってきましたので、それも含めて、私たち住民がすべきことと市がすることとバランスを見ながらできればいいかなと思っております。

もう1つは、表はこれはこれでいいと思うんですが、もう1つ対象別にというのがありました。これはもう1つあってもいいかなと私は思います。対象ということで住民、高齢者、子ども、地域コミュニティ、あるいは女性というように仕分けを変えてみるとより分かりやすくなるのかなという気がしますので、両方あるといいかなと思いますので、これは次までにということにいたしましょう。そういうことで今日のところはここまでとしたいと思いますので、ぜひまた第3回ご参加いただいて活発なご意見をいただければと思います。

#### 閉会